

## 平成29年度 御幸小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

## 1 教育目標（目指す児童像含む）

心身ともに健康で、よく考えて判断する力と自主的に行動するたくましい実践力をもち、誠実で思いやりがあり、豊かな心をもった児童の育成を目指す。

- 素直で、思いやりのある子・・・やさしく    ○ 自ら考え、進んで学習する子・・・かしこく  
○ 健康で、ねばり強い子・・・たくましく

## 2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

全職員が、本校で勤務することに誇りと責任をもち、愛と和をもって常に児童・地域とともに歩む姿を模索し、教職員としての資質を高め、家庭や地域社会との相互関係を深めながら、21世紀をたくましく生きる児童の育成に全力で取り組むこととする。

## 3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

## 1 豊かな人間性の育成（やさしく）

○児童一人一人が心のこもったあいさつができ、また、互いを認め合い、生き生きと輝き、社会性に満ちた生活が送れるようにするため、「豊かな心育成全校運動」を推進する。

- ・きまりを守る児童を育成するため、校内の目標・規律を設け、教職員が同一歩調で貫く指導を展開する。
- ・いじめを絶対許さない態度の育成に全校で努める。
- ・自分の気持ちをしっかりと伝えることができるようになるための豊かな表現力を育てる指導を行う。
- ・動植物を大切に育て、心の優しさを持てるようにする。

## 2 確かな学力の向上（かしこく）

・基礎・基本を重視し、確かな学力の定着を図るため「チャレンジ学習全校運動」を推進し、めあてに向かって全力で取り組む児童を育成する。

- ・積極的な表現力の育成を図る。
- ・読書全校運動を推進し、本好きな子を育成する。

○保護者の理解や協力を得ながら、基本的な学習習慣づくりや家庭学習の充実を図る。

## 3 健康で安全な生活（たくましく）

・健康への意識向上を図るため「元気っ子活動全校運動」を推進する。

- ・健康で安全な生活を営むため、よりよい生活習慣づくりを強化し、家庭との連携を図る。
- ・運動の奨励を図り、体力・技能の向上を目指す。
- ・朝食の徹底、お弁当の日の有効活用など食育を推進し、食を大切にする心を育てる。
- ・地域や関係機関の協力を得て、児童の安全確保に万全を期する。

【鬼怒地域学校園教育ビジョン】

【テーマ】自立 ～よりよい判断をし、学習や学校生活に意欲をもって取り組む子どもの育成～

## 4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

## 【学校運営】

・地域との絆を深め、地域人材の支援を得て、体験活動を重視して、未来に向かって力強く頑張ろうとする意欲に満ちた児童を育成する活動を展開する。

## 【学習指導】

○授業における子ども同士の学び合いを通し、積極的な表現力の育成を行う。

○家庭の協力も得て、めあてに向かって自分から学習に取り組めるようにする。

## 【道徳教育（児童生徒指導）】

○思いやりと優しさを持って行動し、互いを認め合うと共に、豊かな表現力により自分の考えを伝え、自己有用感をしっかりと持つようにする。

## 【健康（保健安全・食育）・体力】

○運動や健康に関心を持ち、自ら進んで体力を高めていこうとする。

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	<p>A1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート（以下略）の「自分は、今の学校が好きである」 ⇒児童肯定的回答 90%以上 「学校全体に活気があり、明るく生き生きとした雰囲気である」 ⇒教職員肯定的回答 90%以上</p>	<p>①ゆとりある充実した学校を目指し、年間行事計画や学校行事計画の適正な実施と改善に努める。</p> <p>②互いのよさを認め合い、高め合う学級集団づくりを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Q-U 調査を活用した個別指導の充実、教育相談を活かした学級づくりの推進</li> <li>・わくわくタイムでのクラス共遊、縦割り共遊の活性化</li> </ul>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の肯定的回答 92.6%。教職員の肯定的回答 100%と数値指標を上回った。</li> <li>・行事計画等の改善に努め、計画的に教育活動が実施できた。</li> <li>・2回のQ-U 調査を活用し、個別指導や学級づくりに努め、互いに認め合う心が育ってきた。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・縦割り班での共遊や活発な児童集会を通して、互いに認め合う雰囲気が高まった。学級での共遊活動を活性化し、さらに認め合い、高め合う集団づくりを推進していく。</li> </ul>
	<p>A2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。</p> <p>【数値指標】 「先生方は、大切なことをしっかり教え、熱心に指導してくれる」 ⇒児童肯定的回答 90%以上 「教員は協力し、児童のよいところを認め、教えるべきことを熱心に指導している」 ⇒教職員肯定的回答 90%以上</p>	<p>①ねらいを明確にしたわかる授業を目指し、指導法や学習形態の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改善に努める。</li> </ul> <p>②学習指導や児童指導に対して全教職員の共通理解を図り、一人一人の子どものニーズに合った指導・支援を推進する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の肯定的回答 98.4%。教職員の肯定的回答 100%と数値指標を上回った。</li> <li>・わかる授業を展開し、指導案検討会やグループ活動での形態の工夫改善に努めてきた。</li> <li>・全教職員で共通理解を図り、必要に応じて、組織として児童への指導や支援を行ってきた。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性を生かした教科指導を取り入れた授業実践に努め、生き生きとした学習活動が展開できるように授業改善に努めていく。</li> <li>・かがやきルームの特性を生かし、入級児童への指導効果が高まるように、担任との情報交換を密にしていく。</li> </ul>
	<p>A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。</p> <p>【数値指標】 「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒児童肯定的回答 85%以上</p>	<p>①「みゆきよい子の一日」を全学級の教室に掲示し、保護者に配付することで、家庭との連携を図りながら、きまりやマナーの徹底に努める。</p> <p>②児童指導委員会を開催することにより、児童の状況を踏まえながら、学校の状態に即したルール作りを行い、教職員全員が同一歩調で指導に当たる。</p>	A	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の肯定的回答は、89.6%と指標を上回った。</li> <li>・「みゆきよい子の一日」を通して決まりやマナーの徹底に努めた。</li> <li>・児童の状況を踏まえながら、教職員全員で共通理解を図った。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「みゆきよい子の一日」を分かりやすいものに変更。</li> <li>・児童指導委員会を月1回行われる職員会議の最後に位置づけ、教職員の共通理解を深める。緊急性のある議題に関しては、朝の職員会議で伝える。</li> </ul>

学 校 運 営 の 状 況	<p>A4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の定的回答 85%以上</p>	<p>①教材研究を共有し、予測されるつまずきへの支援の手立てを工夫して、きめ細やかな指導の実践に努める。</p> <p>②学習指導要領を踏まえ、言語活動の充実を図り、主体的に学ぶ態度や基礎・基本の定着に努める。学習の基盤となる<u>認め合い、高め合う学級集団づくり</u>をめざして、学び合う態度やスキルの育成に努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の肯定的回答97.9%と指標を上回った。習熟度別少人数指導を3年生から6年生まで実施し、個に応じた指導に努めてきた。</li> <li>基礎・基本の定着を目指して、ぐんぐんタイムを利用したり、チャレンジテストを計画的に実施したりした。</li> <li>朝の楽手の時間にレベルアップ教室を実施し、担任のない教職員の協力を得て、主に算数において習熟を図った。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>さらなるレベルアップ教室の充実を図る。</li> </ul>
	<p>A5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 「先生は、いじめがいけないことをしっかり教えてくれる」 ⇒児童肯定的回答 85%以上 ⇒教職員肯定的回答 85%以上 「学校は、いじめ対策を積極的に公表し、熱心に取り組んでいる。」 ⇒保護者肯定的回答 80%以上</p>	<p>①全クラスにおいて、「いじめゼロ標語」を作成し、掲示することで、いじめを許さない意識を高める。</p> <p>②児童対象のいじめ調査を定期的の実施し、教員間の情報交換を随時、必要に応じて行うことで、いじめの早期発見、早期解決に努める。</p> <p>③「学校だより」などの通知に、いじめ防止に関する取組についての内容を掲載するとともに、5月・9月のいじめゼロ強化月間実施について、学校配信メールにて知らせ、保護者や地域に向けての情報発信を行う。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童、教職員の肯定的回答は、それぞれ98.4%、96.2%と高水準であり、保護者の肯定的回答も前年度より2%向上し、74.9%であった。</li> <li>学校での「いじめゼロ」への取組を学校だより等で発信しているが、周知が弱かったため、保護者に十分に伝わっていない状況が肯定的回答結果から分かる。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年1回授業参観で行われる道徳の授業を全クラス「いじめ」をテーマに実施することで、保護者への理解を図り、肯定的回答の向上を図る。</li> </ul>
	<p>A6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている</p> <p>【数値指標】 「学校の日課、授業、行事などは、適切に実施されている」 ⇒保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①学校行事や学年行事等は、実施後その都度評価し、改善すべき点について検討して、次年度の計画に生かすようにする。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の肯定的回答94.3%と数値指標を上回った。</li> <li>適切な教育課程の実施に努めた。複雑な日課を精選し、児童が落ち着いて学校生活を送れることができた。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業時間確保のために、保護者や地域の方の意見も取り入れ、行事ごとの日課に見直しを図っていく。</li> </ul>
	<p>A7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われている。</p> <p>【数値指標】 「学校は、学校だよりや学校公開などで積極的に情報を発信・提供している。」 ⇒保護者肯定的回答 85%以上 ⇒地域住民肯定的回答 85%以上</p>	<p>①土曜授業(年間1回)や授業参観(年間3回)を実施したり、学校行事等への積極的な参加を呼びかけたりして、地域や保護者に教育活動を積極的に公開する。</p> <p>②学校だより、学年・学級だよりなど各種たよりを定期的に発行したり、ホームページの更新などを随時行ったりしながら、地域や保護者に学校の様子を知らせていく。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の肯定的回答94.1%、地域住民の肯定的回答100%と数値指標を上回った。</li> <li>授業等の積極的な公開や、各種たよりの発行等を通して、学校からの情報公開に努めた。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域に開かれた教育課程の実施のために、ホームページの定期的な更新を実施し、各種だよりが最新の情報となるよう努める。</li> <li>学年だよりに子どもの活動の様子を載せ、内容の充実に努める。</li> </ul>

学 校 運 営 の 状 況	A8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った学校づくりが推進されている。 【数値指標】 「学校は、家庭、地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒保護者肯定的回答 85%以上	①地域協議会の協力を得て、地域の教育力を取り入れ、特色ある学校経営の充実を図る。 ②企業による専門家出前授業や地域人材を活用した授業を各学年1回以上実施する。 ③地域の教育力をさらに活用できるように、支援ボランティアの確保や地域人材の発掘に努め、体験活動の拡充を図る。	B 【達成状況】 ・保護者の肯定的回答 89.0%と数値指標を上回り、各学年で、1回以上地域や企業等の人材を活用した活動を実施できた。 ・地域協議会の協力で、学習支援ボランティアや地域人材の活用を推進し、特色ある教育活動の充実に努めた。 ・専門家の出前授業や施設を活用して、よりよい教育活動を推進できた。 【次年度の方針】 ・地域や企業等の教育力や施設を効果的に活用し、教育活動の充実を図っていく。
	A9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 「学校は荷物や備品が整理整頓されるなど学習にふさわしい環境である」 ⇒保護者肯定的回答 85%以上	①季節感や児童の成長・学習の成果が見える掲示物を工夫したり、清掃指導の充実や校内緑化の推進を図ったりするなど、よりよい環境づくりに努める。	B 【達成状況】 ・保護者の肯定的回答 87.2%と数値目標を上回った。教室や特別教室・資料室の環境整備や学習効果の掲示など、学校あげて取り組んだ。 【次年度の方針】 ・新学習指導要領で英語が教科化されるので、児童が目に触れるところや身近なところに英単語を掲示し、日常的に英語に触れるようにする。
	A10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」 ⇒保護者肯定的回答 80%以上	①学校だよりやホームページ、校内掲示により幅広い広報活動を行い、小中一貫教育の取組の様子を伝えていく。	B 【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 86.8%と指標を上回ったが、保護者は 79.0%と指標を下回った。 ・乗入授業、挨拶運動の実施、給食での共通メニューの献立など計画的に実施できた。 ・校内に掲示コーナーを設置し、広報に努め、保護者の関心が高まった。 【次年度の方針】 ・挨拶運動を小中学校で連携して実施し、定期的な交流の機会を増やし、活動のPRに努める。
教 育 活 動 の 状 況	A11 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 「児童は、あいさつをしている」 ⇒児童肯定的回答 85%以上 ⇒保護者肯定的回答 75%以上	①児童会と地域で連携した「あいさつ運動」を推進し、あいさつに対する意識向上を目指す。 ②全学級で、長期休業明けに、あいさつに関するロールプレイングを実施し、あいさつが自然にできる態度を養う。 ③「あいさつ強化月間」を設け、児童会からあいさつに対する呼びかけを行う。また、集会、一斉下校などを利用し、児童指導主任および、交通安全係より、あいさつの啓発を行う。	B 【達成状況】 ・児童の肯定的回答率は 96.1%と指標を上回ったが、保護者は、74.6%と目標指標に後一歩だった。(昨年より向上) 【次年度の方針】 ・教職員から進んであいさつを行うことを継続して行い、児童が自ら進んであいさつができるように指導する。

教 育	健康 ・ 体 力 の 状 況	<p>A12 児童は、正しい言葉づかいをしている。</p> <p>【数値指標】 「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている」 ⇒児童肯定的回答 80%以上 ⇒教職員肯定的回答 80%以上</p>	<p>①授業中の言葉づかいに重点を置き、全教職員の共通理解のもと、時と場に応じた言葉づかいの一貫した指導に努める。</p> <p>②学年だよりや懇談会等を通して家庭との連携を図りながら、習慣化を目指す。</p>	A	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童、教職員の肯定的回答は、それぞれ 88.4%、92.3%であり、指標を上回った。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>時と場に応じた言葉づかいが身に付くように、年度の初めにクラスで指導の時間を設ける。</li> </ul>
		<p>B2 集団生活の中で教師や友達の話に耳を傾け、気持ちを集中させることができる。</p> <p>【数値指標】 「児童は、朝会や集会等、教師や友達の話に耳を傾け、しっかりと聞いている」 ⇒児童肯定的回答 85%以上</p>	<p>①集会時における話の聞き方について、全教職員による一貫した指導を徹底することで、話の聞き方の基本の習得を図る。</p> <p>②毎日の授業や集会を通して「時間を守る」「人の話をしっかり聞く」などの態度が十分身につくように、全職員の共通理解のもと、一貫した指導を繰り返し行っていく。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の肯定的回答率は 96.5%と指標を上回っている。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集会時など人が集まる場合は、「静かに集まる」ことを引き続き指導しつつ、「人の話をしっかり聞く」ことの大切さを繰り返し呼びかけ、意識づけを継続させる。</li> </ul>
	健康 ・ 体 力 の 状 況	<p>A13 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】 「児童は、休み時間や放課後などに進んで運動している」 ⇒児童肯定的回答 90%以上</p>	<p>①水泳検定や縄跳び検定の実施、元気っ子活動全校運動（縦割り班共遊・児童会活動・長縄跳び大会等）の実施により、運動への意欲を高める。</p> <p>②縄跳びのように手軽にできる運動の奨励を図るとともに、体力向上の手がかりとなる情報を家庭に流し、運動の習慣化を促していく。</p>	A	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の肯定的回答 89.8%となり、数値指標を下回った。</li> <li>検定や元気っ子運動を実施し運動の習慣化を図ったが、児童の自主性を促すまでには至らなかった。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>休み時間に運動するという意識づけをはかるために、月に 1 回程度、スポーツウィークを設け、運動する習慣を身に付けられるようにしていく。</li> </ul>
健 康 ・ 体 力	<p>A14 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。</p> <p>【数値指標】 「児童は、好き嫌いなく給食(食事)を食べている」 ⇒児童肯定的回答 85%以上 ⇒保護者肯定的回答 80%以上</p>	<p>①月 1 回の食育だよりの発行、お弁当の日の事前の計画と事後の振り返りの実施等により、食育や健康に対する児童や家庭の意識の高揚を図る。</p> <p>②給食指導について、各学年で共通理解を図る。</p> <p>③ランチルーム利用時には、栄養職員が栄養指導を行うことで、児童の意識の高揚を図る。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の肯定的回答 85.8%でバランスを考えて食事をしているが、保護者の肯定的回答 68.0%ですれが生じている。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各担任の給食指導の課題や問題に感じていることに出されたものを整理し、学年に応じた給食のマナーを共通理解の上で指導に当たる。また、指導上困っていることをアイディアを共有することでより良くしていくなど、給食の時間の見直しを図る。</li> </ul>	
	<p>B3 学校は、児童の安全な登下校の実施に取り組んでいる</p> <p>【数値指標】 「学校は児童の安全な登下校の実施に努めている」 ⇒保護者肯定的回答 80%以上</p>	<p>①登下校時の安全を確保するため、月 1 回の登校指導、学年での集団下校の実践に取り組むとともに、学年朝会や帰りの会等でも随時指導する。また、懇談会の際に保護者に協力を依頼したり、地域協議会を通して、地域の協力も得られるようにしたりしていく。</p> <p>②一斉下校時に、割り当てになっている学年が巡回を行う。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の肯定的回答 84%となり、数値指標を上回った。</li> <li>登校指導や学年下校、集団・一斉下校時に、必要に応じ指導をしてきた。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数値指標は上回ったものの、下校の仕方に関しては、課題も多い。来年度は、登校指導はもちろんのこと、一斉下校時の巡回を強化し、安全な登下校の実施に努めていく。</li> </ul>	

教育活動の状況	<p>A15 児童は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 「児童（生徒）は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」 ⇒児童肯定的回答 85%以上</p>	<p>①授業ではペアやグループ、一斉学習などねらいに応じた適切な学習形態での学び合いの場を設定する。</p> <p>②話し方や聞き方のポイントを教室に掲示したり、話し合いのルールを発達段階に応じて設定し、日々の授業で、進んで話し合いができるようにしていく。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の肯定的回答は95.1%と数値目標を上回った。</li> <li>ねらいに応じた適切な学習形態について研究授業などで研究してきた結果、児童も自信を持って学習に取り組むようになっていく。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的・対話的な深い学びの具現化を図る。</li> </ul>
	<p>A16 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 「児童は授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」 ⇒児童肯定的回答 85%以上</p>	<p>①年2回(6・10月)学習強化月間を設け、学習習慣定着への取り組みを中心に「相手を見て最後までよく聞き考える」態度の育成を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の肯定的回答は90.9%で、落ち着いて学習に取り組んでいる。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各クラスの学習状況の把握をし、組織的に対応していけるよう情報交換をする時間を取るようにする。</li> </ul>
	<p>B1 学校全体で読書活動を積極的に推進している</p> <p>【数値指標】 「児童は様々なジャンルの本を楽しみながら読んでいる」 ⇒児童肯定的回答 85%以上</p>	<p>①月・金の朝の時間の図書の貸し出し(全学年)、出張図書室(下学年)や休み時間の開架(上学年)、読書まつりなどを通して、読書量の増加を図る。</p> <p>②読書カードの活用や学年だより、図書館だより等で呼びかけで、家庭での読書を進めていく。さらに、読書カードの利用の多い児童に対して、しおり等で奨励し、読書に対する関心を高める。</p> <p>③週1回、読書指導としてクラス全員を図書室につれて行き、本を借りさせるようにする。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の肯定的回答は91.4%と指標を上回った。</li> <li>月・金曜の朝の貸し出しでは、100名以上の利用者ができるようになり、本への興味・関心の向上が見られる。</li> <li>1週間の中で1回、クラス全員を図書室に教師が連れていき、図書を借りる機会を設けるようにし、読書習慣の確立に役立った。</li> <li>低学年の利用が多く、高学年は読む本の多様化から利用者が少ない。また利用者の固定化がしている傾向がある。</li> <li>生活と学習のアンケートで土曜・日曜に読書をしない児童が多かった。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な本に出会うための方策として5分間ドリルの活用を図る。</li> <li>司書教諭の活用を図る。</li> </ul>
	<p>B4 漢字や計算チャレンジに積極的に取り組んでいる</p> <p>【数値指標】 「児童は、漢字や計算チャレンジに積極的に取り組んでいる」 ⇒児童肯定的回答 80%以上</p>	<p>①漢字・計算において、年間3回のチャレンジテストを実施し、基礎・基本の定着を図る。</p> <p>②毎週3回(火・水・木の朝)ぐんぐんタイムを実施し、国語と算数の基礎・基本の定着を図る。</p> <p>③チャレンジテストに向けて、目標をもって家庭学習に取り組めるようにする。</p> <p>④懇談会、学年・学級だよりにより家庭学習の啓発を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の肯定的回答は84.6%で数値目標を上回った。</li> <li>家庭学習の習慣を付ける意味から、がんばりカードを個々に持たせ、10日前から計画的学習することができるようにし、目標に向けて頑張ることができる児童も出てきている。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習の推進の方法を考える。</li> </ul>

本校の特色・課題等	B5 本校の児童の実態や地域の実態を踏まえて、特色ある学校づくりを積極的に推進している。 【数値指標】 「学校はあいさつ運動やチャレンジ学習、体力づくり等の特色ある学校づくりを積極的に推進している」 ⇒保護者肯定的回答 80%以上 ⇒教職員肯定的回答 90%以上	①3つの全校運動（豊かな心育成全校運動、チャレンジ学習全校運動、元気っ子活動全校運動）の積極的な推進により「生き生きと輝き、たくましく、共に生きる力を育む子」の育成に努める。	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答 100%、保護者の肯定的回は 84.0%で、数値指標は上回った。 ・5つの公約を立て、児童や保護者に周知し、着実に実践してきた。 【次年度の方針】 ・5つの公約の見直しを図り、3つの部会での効果的な指導を通して、成果を上げていく。
-----------	---	---	---

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

<p>1 教育全体の状況（質問項目 A1～A6）に関して、全ての項目で児童、教職員の肯定的回答率は昨年と同等か、上回る結果となりました。「活気のある学校」（A1）については、保護者からも高い評価を受け、明るい挨拶を心掛ける日頃の指導の成果が学校の雰囲気を上向きさせたものと思います。ただ、地域住民からは、前年度と比べ幾分低い評価となっており、学校外での指導の強化を図る必要性を感じております。</p> <p>「いじめ対策」（A5）は、児童・職員ともに高い数値を示し、校内での指導が実り始めている様子が見られますが、保護者への啓発活動が行き届かず肯定的回答率が 74.91%となりました。親子いじめ撲滅標語の募集など啓発を試みてきたが、ホームページを活用した周知などで、さらに情報公開していきたいと思っております。</p> <p>2 学校運営の状況（質問項目 A7～A9）では、校内美化に関して評価が低くなりました。学習成果の掲示物の刷新、校内緑化の推進に取り組んできましたが、まだまだ十分とは言えないようです。子どもたちにとって居心地の良い学校環境を構築していきたいと考えております。地域、保護者の皆様もお気づきの点がございましたら、ご意見をお寄せください。</p> <p>3 学校生活状況（質問項目 A3, 5, 11, 12, B2）に関しては、児童・保護者ともに高い評価を得ることができました。「挨拶」（A11）については、児童会と地域が連携した「あいさつ運動」（5～11月にかけての月1回の朝のあいさつ運動）の推進や「あいさつ強化月間」の成果と考えられます。地域や保護者の皆様が毎朝の登校指導の際に、子どもたちに声をかけてくださることで、「挨拶を返す習慣」が次第に定着しているようです。</p> <p>また、「言葉遣い」（A12）については、時と場に応じた正しい言葉が使えるよう授業中の受け答えを中心に指導してきました。「目上の人に対する言葉遣い、時と場に応じた言葉遣い」は会話の基本です。ご家庭でも挨拶や返事、正しい言葉遣いなど、声掛けなど、地域の方と連携した指導を今後ともご協力お願いいたします。</p> <p>4 健康・体力に関する状況（質問項目 A13, 14, B3）では、「進んで運動する習慣」の児童の回答率（90→89.8%）が下がりました。児童については質問項目（21問）のほとんどで目標指標を上回りましたが、運動習慣の定着のみわずかですが下回りました。子どもたちは体育の授業や休み時間の外遊び以外では、進んで体を動かす機会が十分でないと感じているようです。半面、スポーツ少年団や地域の習い事・ジム等に通っている児童は運動する場面は十分にあり、運動する子としない子の二極化が見られました。また、体力テストの「走・跳・投」の基礎運動能力の結果が低いことから、今後ますます体を動かす習慣づくりや体力づくりに力を入れていく必要性を感じています。</p> <p>5 学習状況（質問項目 A4, 9, 15, 16, B4）に関しては、「わかる授業の推進」（A4）、「学習環境の整備」（A9）、「学習への集中度」（A16）とも、児童の肯定的回答率・数値目標ともに同等か向上しており、授業に臨む態度が育っているようです。しかし、3項目とも、保護者の肯定的回答率は低下しており、学校課題である「学び合い」「分かる授業や極め細やかな指導」（A4）については目標指標を越えていますが、保護者の肯定的回答率が下がっています。今年度実施した学習強化月間（年2回）や基礎・基本の定着を図る学習指導をさらに充実させ、集中した授業態度の育成を図り、分かる楽しい授業となるよう努めます。教育現場にとって学力向上は大変重要な課題で、宇都宮市でも力を入れている施策の一つですので、今引き続き重点目標として力を入れていきます。</p> <p>読書活動（B1）に関しては、ボランティアの読み聞かせ活動や校内での朝の読書活動の推進、図書館環境の整備など、積極的に改善に努めてきました。その結果、児童の読書量は増加し、学力の基礎を養うとともに、学校生活に潤いと落ち</p>
---

着きが見られるようになりました。ただ、保護者の肯定的回答率は著しく低く（74.7%）、児童の本に親しむ様子などを学年日よりや図書日より、より詳しく広報していこうと考えております。

## 6 学校関係者評価

地域住民の肯定的回答率が、全体的に高評価を得ることができました。学校行事をはじめ、地域の活動を通して学校の取組に興味をもて、様々なご助言をいただいた結果でと思います。

唯一厳しい評価をいただいた「正しい言葉遣い」（A12）については、肯定的回答率が68.8%から74.6%と上向しているものの、折に触れ、粘り強く指導していきたいと思います。特に、道徳の授業では「礼儀」の指導の中で重点的に取り扱い、道徳的实践力を高めていきたいと思います。

情報公開については、肯定的回答率が94.1%となり、引き続き、学校の取組の状況について公開し、地域に開かれた学校づくりを推進していこうと思います。

「あいさつ」（A11）に関して、『下校時や学校を訪問した時に、こんにちはと挨拶されることが増えてきました。』と自由記述をいただき嬉しく思います。しかし、登校時や、地域で出会った時に、いつでも元気よく挨拶できる児童ばかりでなく、挨拶の苦手な児童も見られます。地域の皆様の力をお借りしながら、いつでも、どこでも元気に挨拶できる児童の育成に努めてまいります。

## 7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

本年度の成果と反省をもとに、各項目に関して具体的な手立てを設定し、全教職員一丸となって学校運営・経営を進めていきます。今まで以上に情報公開に努め、保護者や地域のみな様の力をお借りして、以下のような学校づくりに邁進していく所存です。

- ①「子どもたちが毎朝早く学校に行き、友達や先生と一緒に、勉強や運動をしたいと思える学校」
  - ②「教職員が職場の仲間と一緒に、子どもたちのために実践と研修に励む学校」
  - ③「保護者や地域の方々が一緒に、地域の学校を誇りに思い、進んで手伝いたくなるような学校」
- 今後ご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。